

緑 化 樹 木 の 情 報 誌

# 緑 化 通 信

2025  
10月25日  
(年6回25日発行)  
第513号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階  
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577  
URL: https://www.uekior.jp/ E-mail: honbu@uekior.jp  
購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



環境に配慮するため  
FSC®森林認証紙を  
使用しています。

## 令和7年度 都道府県別緑化樹木 供給可能量調査 結果報告

(一社) 日本植木協会

(二財) 日本緑化センター 理事 瀧 邦 夫

### 調査結果の概要

2025年度の供給可能量は3,421万本となり、対2024年度(3,614万本)比94.7%と7年連続の減少となっている。形態別内訳は、グラウンドカバープランツ(GCP)が最も多く全体の5割弱(48.7%)、次にコンテナ樹木がおおよそ2割強(21.7%)、3番目に低木常緑樹が2割弱(17.1%)の順となる(図1)。

露地栽培物のシェアは70.4%、3対7を維持している。高木本数の形態別内訳は、おおよそ常緑広葉樹44%、ハマヒサカキ16%

5、落葉広葉樹3、針葉樹2の割合を保っている。主な形態について種類別の内訳をみると、GCPではタマリユウ301万鉢(全体の34%)、オオムラサキツツシ97万本(同17%)、ヒラドツツシ72万本(同12%)、キンメツゲ28万本(同5%)、カンツバキ18万本(同3%)が上位5樹種を構成している。サツキは2018年度まで400万本台、19・20年度に300万本台、21年度以降200万本台へ供給力を下げている。

また、GCPのタマリユウは鉢径7.5cm、5芽立の規格の他に、マット栽培による供給(露地4,420㎡、コンテナ26,826㎡)も行われている。2025年度の総数は前年度に対し5.3ポイント減少となり、対2024年度比は露地物95.2%、コンテナ物94.4%となっている(図2)。

2025年度のコンテナ物の対2024年度比の内訳は、コンテナ樹木91.3%、GCP95.9%となり、これらの減産が全体の動きに影響している。

【需要の動向】「建設工事施工統計調査(国土交通省)によると、2023年度の造園工事完成工事高は6,037億円、前年度比12.8%と大きく伸びている。このうち、造園工事業種が元請で受注している金額は3,289億円とこちらも前年度に比べ23.1%と大幅に増進している。元請比率は54.5%を占め、前年度に比べ4.6ポイント上昇している。

また、2023年度の元請完成工事高を発注者別にみると、公共は1,540億円(46.8%)、民間は1,749億円(53.2%)となり、民間の発注額が公共を6.4ポイント上回り、3年続けて民間優位となっている(図3)。

なお、造園工事を含む総合工事業8業種全体の完成工事高は前年度に比べ7.6%増となっており、造園工事の完成工事高は8業種の中で一番高い伸び率を示している。

公共工事の全体的状況を「公共工事前払金保証統計(北海道・東日本・西日本建設業保証(株))」によって検討する。2024年度の件数は217,163件、前年度に比較し2.1%の減、請負金額は15兆2,054億円、前年度に比べ3.2%増となっている。発注者別では、市区町村が最も大きく、件数で49.2%、請負金額で36.3%を占めている。2番目は都道府県が各々39.4%、28.5%となる。地域別には、関東のウェイトが大きく件数で22.3%、請負金額で27.2%を占める。

造園植栽工事に結びつきの強い公園および道路工事の請負金額について、2024年度の道路部門は4兆2,015億円、前年度に比べ6.8%の増加、公園部門は6,748億円、前年度に比べ26.0%の大幅増加となった。

「全国屋上・壁面緑化施工実績調査(国土交通省)によると、2023年に約15.7haの屋上、約5.0haの壁面が新たに緑化された。これまでの累積で、屋上は約615ha、壁面は約125haが整備された。建物用途別にみると、累積で屋上は住宅・共同住宅(119.6ha、19.6%)、商業施設(82.4ha、13.5%)、教育文化施設79.1ha、12.9%が上位を占めている。壁面は商業施設(34.6ha、28.0%)、工場・倉庫・車庫(19.9ha、16.0%)、教育文化施設(12.9ha、10.4%)の順となる。

屋上緑化に使用される植栽材料の形態別累積面積をみると、複合27.5%、セダムを主に植栽27.2%、芝生を主16.9%などである。一方、壁面緑化の累計面積は、やはりツル性植物を主73.3%(90.3ha)、複合10.8%(13.3ha)、ツル性を除く草本を主8.0%(9.9ha)となる。

屋上に造成される植栽基盤の厚さをみると、累計面積で5cm以下23.3%、5~20cm37.9%、20cm以上28.4%となっている。

2019年以降の最近5年間で、各々、22.2%、42.5%、26.2%となり、植栽基盤を配慮する傾向が見られる。

「建設工事受注動態統計調査(大手50社)」「国土交通省」をもとに、民間の建設・土木工事の動向を把握する。2024年度の受注高は13兆6,457億円、民間工事は、サービス業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業等が増えたため、前年度比8.9%増、4年連続で増加している。

図-1 形態別の供給可能量(単位:千本・鉢)  
[2025年度:34,211千本・鉢]

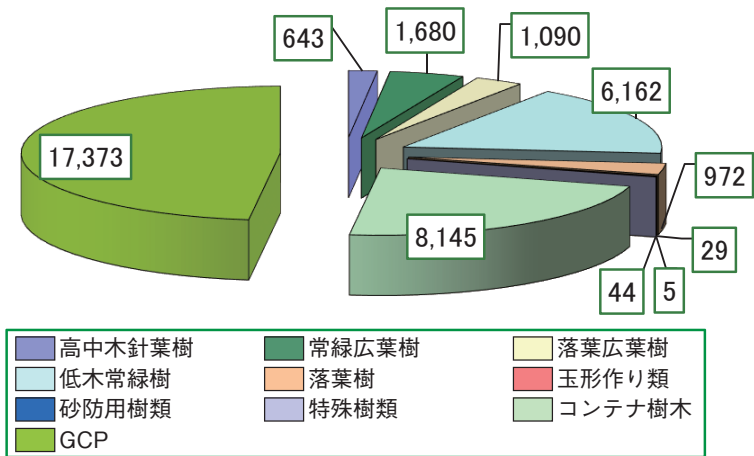


図-2 露地・コンテナ栽培の推移(単位:千本・鉢)

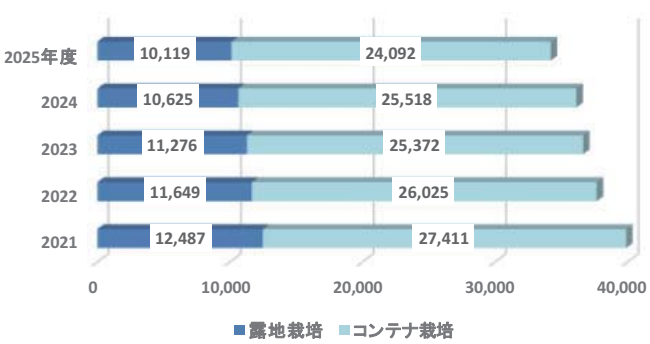
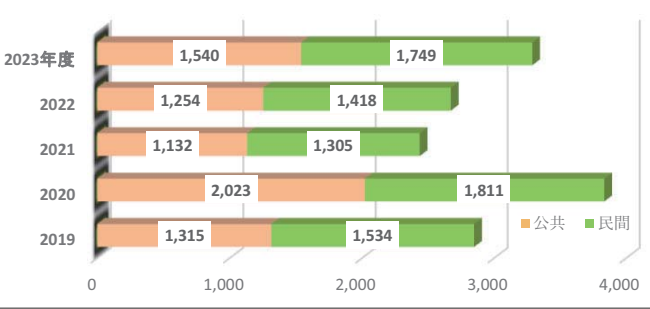


図-3 発注者別元請完成工事高の推移(単位:億円)



日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション\*

### 酔芙蓉 (スイフヨウ)

学名 *Hibiscus mutabilis f.versicolor*

酔芙蓉(スイフヨウ)は、芙蓉(フヨウ)の園芸品種で、夏から秋にかけ枝先に八重の花が次から次へと開花します。咲き始めの朝は白色で、午後はピンク色、夕方から夜にかけて紅色に変わり、翌朝にはしばむ一日花です。

花色が変化するの、アントシアニンの合成によるもので、25度以下の気温では合成が進まないため白色ですが、25度以上になると合成が急速に進み、ピンクから紅色へと色付きます。

和名は花が白色から紅色に変わる様子を、お酒に酔って顔が赤くなっていく姿に例えられ、この名が付けられたと言われています。

名付け親は、NHK連続テレビ小説『らんまん』の主人公のモデルになった牧野富太郎博士です。



問い合わせ 古川和生 (株)古川庭樹園 (大阪府)  
☎0721-93-2673

\*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

地方かわら版

兵庫県支部長

勝山明彦

(株)松盛園(兵庫県)

兵庫県支部長(関西プロロック副社長兼務)の(株)松盛園の勝山明彦です。日頃から各プロロック、支部の皆様にはお世話になり、活気のあふれる年であったり、ありがとうございます。私たち兵庫県支部は、大阪、京阪神を消費地に持つ地域のため、昔から生産の盛んな地域でしたが、近年は都市化の影響により生産地が極端に減少の一途をたどっています。そのため、流通卸業を営む会社がほとんどで、材料調達に四苦八苦しているのが現状です。昨今、政府指導の働き方改革の影響で流通費、その他経費の値上りを受け、厳しい経営が続いています。

兵庫県支部

の活動としては、年間3回の支部会(懇親会含む)を開催し、会員間の親睦を深めています。また、関西プロロックの活動にも協力し、関西プロロックでは年に1回視察研修を行い、各産地の状況を見学し、生産者の方々と意見交換して会員同士の親睦を深めています。

今年は、8月末に鳥取県方面に行き、(株)本園様、(株)宮園芸様の圃場視察を実施し、(株)本園様の落葉高木の苗木生産・山野草の生産圃場を見学させていただきました。さらに生産面積を拡大される計画で頑張っておられました。(株)宮園芸様は、山陰地方を中心に流通卸を展開されていて、広大な圃場には、関東、九州と、各産地



(株)宮園芸にて

宝塚市中筋地区生産圃場風景



宝塚市中筋地区生産圃場風景



(株)松盛園の月例社内会議

青年部会だより

「みどりの7団体」

若手技術交流会」参加報告

大島淳一  
大島緑地(千葉県)

令和7年9月12日、一般社団法人 日本植木協会を含む「みどりの7団体」は、「若手技術交流会」を開催しました。今回は、東京都町田市にある鶴間公園を視察し、その後、公園設計に携わった株式会社CEES。緑研究所の手塚氏による講演を通じて、各団体の若手技術者たちが知識と経験を共有しました。



良い点、改善点について活発な意見が交わされました。

鶴間公園の魅力と先進的な取り組み

鶴間公園は、多摩丘陵の豊かな自然の中に位置し、防災公園としての機能も持つ魅力的な施設です。当日は、7団体から集まった若手技術者たちが5つのグループに分かれ、職員の説明を受けながら公園の隅々まで丁寧に視察しました。視察後の発表会では、各グループから鶴間公園の



各団体が混ざってのグループ検討会



青年部会部会長の田宮慎二さんが協会を紹介

これは、来園者に快適な空間を提供するための日々の努力の賜物と言えるでしょう。

さらなる改善点と未来への

提言

多機能な施設…遊具や噴水、サッカーコート、テニスコートなど、多様な施設が整備されており、幅広い年齢層の来園者が楽しめる工夫が凝らされています。

資源循環の取り組み…バイオポストの導入により、公園内の剪定枝などを堆肥化してゴミを減らす取り組みや、伐採した木材をウッドチップに加工して園内で再利用する試みは、持続可能な公園管理のモデルとして高く評価されていました。

ユニークな植栽…従来の公園ではあまり見られない、ナチュラルリックガーデンと名付けられた宿根草を中心とした植栽エリアは、参加者の関心を強く惹きました。自然な植生を活かした景観は、新たな植栽手法の可能性を感じさせました。

ケヤキ並木の涼しさ…大きく育ったケヤキ並木が作る木陰は、猛暑の中でも来園者に涼しさを提供していることが印象に残っています。

ドッグランの設置…ドッグランを新設することで、ペット連れの来園者が増えるのではないかとという提案がありました。

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

ナラ枯れ対策…一部の木に

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

③0サワダツ

小岩井農牧(株)(岩手県)

たろさわ ただし

足澤 匡

ありませんが…。それよりも年中緑色の枝が特に目立つので、別名の「アオジクマユミ(青軸真弓)」の方が理解しやすい気がします。特に葉を落とした時期は目立ちます。ヤマブキの枝も緑色できれいですが、サワダツの枝の方がすっきりとした緑色で…。緑色の枝がなぜ青軸(あおじく)?よく考えると、日本では信号機の青色、青菜、青汁、青りんごなど、緑色を「青」と呼ぶ習慣がありますよね。不思議ですよね。

また、「マユミ」という名前を聞くと思い出すが、大学時代の恩師である林彌栄先生の話です。「アブラチャン(クスノキ科クロモジ属)には「ちゃん」が付いているのに、なぜマユミのことは「マユミちゃん」と呼ばないんだろうね」講義では、いつも樹木のことを真面目に熱く語って頂ける先生が、時々発するジョーク、先生のお茶目な笑顔が今でも鮮明に浮かびます。とても幸せな思い出です。

さらに、サワダツの果実は、ツリバナに似た球形の蒴果(さくか)で、熟すると割れ、中に入っている橙赤色の種子がぶら下がります。種子が熟すまでは蒴果の中に隠れており、しっかりと熟すと、まるで用意ができた食事を野鳥のために差し出すように…。野鳥に種子を散布してもらう仕組みは、どうやって形成されたものなのでしょう、とても不思議です。いろいろと書きましたが、植物に対する興味は尽きませんね。だから、楽しいです。

Euonymus melananthus



# GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)

GREEN×EXPO 協会（公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 機運醸成部）

## はじめに

2027年3月から神奈川県横浜市の旧上瀬谷通信施設で、国際園芸博覧会が開幕します。国際園芸博覧会は、国際園芸協会（AIPH）の承認を得て行われ、日本における最上位であるA1クラスの開催は、1990年に鶴見緑地で開催された「大阪花の万博」以来、37年ぶり2度目の開催となります。

本博覧会のテーマは「幸せを創る明日の風景」です。このテーマには植物の自然資本財としての多様な価値を再認識し、自然との共生や環境、植物のもたらす幸福感を新たな明日の風景として可視化するという意味がこめられています。

今年の11月4日には開催500日前を迎え、会場計画や展示計画などの準備が加速しておりますので、今後もご注目をいただけますと幸いです。

## 会場計画について

会場には5つのVillageである「Urban-GX」「Craft」「Farm&Food」「Kids」「SATOYAMA」を展開し、各Villageのコンセプトに基づき、企業との共創による新たなグリーン社会を示す世界観を作り出します。

本博覧会の見どころとなる「テーマ館」「園芸文化展示」「政府出展」の展示内容についての計画を発表しました。会期初旬には約40種類600本の桜が会場で咲きほこるなど、約100haの敷地では開催期間である春から秋にかけて、1000万株の花緑がそれぞれの見ごろで移り変わり、五感で感動を味わうことができます。

## テーマ館

東日本大震災の津波に耐えた陸前高田市の「奇跡の一本松」の根の展示や、植物が菌類と共生する土の中の世界を最新の研究成果に基づき紹介します。

## 園芸文化展示

江戸期には世界最高水準に発達し、まさに日本人が自然とともに親しんできた園芸文化の神髄を表現します。屋外展示では、江戸時代の植木屋・花屋敷を再現することで日本の園芸文化の水準の高さや自然観、季節感を体感いただけます。

## 政府出展

横浜市内を流れる和泉川の流頭部が政府出展の位置する場所です。この貴重な自然環境を読み解き、既存の樹木や在来植物を活用することで、屋外展示では美しい風景としての「令和日本の庭」をつくりあげます。また、屋内展示では“みどり”で解決する可能性を体感・共感し、来場者が考え、ひとりひとりが取り得る行動への一歩を紹介します。

## 「Blooming RING Action」が発足しました！

2025年5月にGREEN×EXPO 2027に向けて皆さんと一緒に開催の機運を高めていく参加型のアクションプログラム「Blooming RING Action（ブルーミングリングアクション）」を発表しました。本博覧会への応援を可視化するアイテムとし



会場イメージ



テーマ館



「奇跡の一本松」の根の展示



園芸文化展示



政府出展

て制作したシリコンバンドをつけ、親指と人差し指を交差させてハートをつくる「ブルーミング（Blooming）ポーズ」をとった写真は、今後、本プログラムの特設サイトや広報媒体、500日前の記念グラフィックなどで公開していく計画です。本プログラムの合言葉は「We are Blooming」でこの合言葉には、花が咲く・笑顔が咲く・みんなが盛り上がるという意味が込められています。PRイベントを中心にリングの配布を行っていきますので、ぜひご参加ください！

## 特別仕様ナンバープレートの交付が開始しました！！

国土交通省が発行する、GREEN×EXPO 2027の開催を記念した特別仕様のナンバープレートの交付が2025年7月14日から開始しました。特別仕様のナンバープレートは日本全国での普及を通じて多くの方々にGREEN×EXPO 2027を身近に感じてもらいGREEN×EXPO 2027の開催機運の醸成を図ることを目的としています。お申し込みの際は、「希望番号・図柄ナンバープレート申し込みサービス」のウェブサイト（<https://www.kibou-number.jp/>）からお申し込みいただくか、お近くのディーラーや整備工場などでご相談ください。

## 次の万博は横浜で

大阪・関西万博の開催を盛り上げるとともに、GREEN×EXPO 2027公式マスコットキャラクター「トウキトウキ」との出会いを通じて、多くの方にGREEN×EXPO 2027を知っていただき、万博での興奮をそのままに2027年横浜開催への期待につなげていきます。

9月23～27日にかけて、大阪・関西万博内のギャラリーEASTで行われた『2027年国際園芸博覧会展、未来につなぐ花き文化展示』では、GREEN×EXPO ラボマスターアーキテクトを務める隈研吾氏がデザインしたモニュメントの展示・本展示期間中しか押せない限定デザインスタンプの設置・大阪・関西万博公式キャラクターミャクミャクとGREEN×EXPO 2027公式マスコットキャラクタートウキトウキのコラボグッズ販売など、大阪・関西万博にご来場された方にGREEN×EXPO 2027を知っていただき、その魅力を感じていただくためのPR活動を行いました。



特別仕様ナンバープレート



「Blooming RING Action」



大阪・関西万博「2027年国際園芸博覧会展、未来につなぐ花き文化展示」の様子

環境緑化樹木識別検定実施委員会

第17回環境緑化樹木識別検定  
資格認定委員会を開催

令和7年9月2日(火)、協会会議室において環境緑化樹木識別検定資格認定委員会が開催されました。この資格認定委員会は7月5日(出)に実施した樹木識別検定(100種の樹木について枝葉だけを見て正しい名前を答える検定)の点数に応じて級位を認定する委員会です。

会議は委員長の高梨雅明氏(一社)公園緑地協会会長)が挨拶され、急速なAIの発展は目を見張るが、一方で実物をしっかり見て自分で判断することの重要性がますます高まっていると述べられました。

今年度で17回を数える環境緑化樹木識別検定は32名の方が受検されました。受検者は当協会員、造園会社、設計コンサルタント、官公庁、樹木医関係、学生と幅広い属性にわたっています。

受検平均点は62.0点。採点を担当された副委員長の内田均氏(一社)日本庭園協会(会長)は、正答基準をより明瞭化し、採点を進めたことを説明しました。



資格認定委員会の会議

■環境緑化樹木識別検定実施委員会の今年度の活動まとめ

★樹木識別ポイント講習会 6月14日(出)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
参加者：44名  
講 師：川原田邦彦、吉澤信行、山崎隆雄、八木峰夫

★第17回環境緑化樹木識別検定 7月5日(出)

会 場：東京農業大学世田谷キャンパス 1号館111教室  
受検者：32名

★令和7年度樹木医研修 樹木識別のポイント(講義と試験)

1期10月3日(金) 会場：ホテルルートつくば  
2期10月17日(金) 会場：ホテルルートつくば  
講師：川原田邦彦、吉澤信行、山崎隆雄、八木峰夫

みどりの7団体では樹木に関する研修の必要性を実感しており、当協会の役割が期待されています。一方、運営の負担軽減のために一部デジタルコンテンツを活用することが提案されています。枝葉の見分け方を分かりやすく解説したデジタルコンテンツを充実させることで参加者の理解度が高まるよう、工夫し発信することが委員より求められました。今後、こうした対応に向けて努力してまいります。



初の満点を取得した  
鶴飼勇希氏と愛馬オッディ



ポイント講習会の  
川原田委員長



枝葉の特徴から正答を目指す樹木識別検定

学校紹介

未来の業界を担う若者たち

島根県立松江農林高等学校

環境土木科

島根県立松江農林高等学校は、明治33年の創立以来、卒業生1万7千人を超える歴史と伝統を持つ学校です。120年を超える歴史の中で、島根県農林学校、県立松江農林学校、島根県立松江農林高等学校から、現在の県立松江農林高等学校へと名を変えながらも、島根県の農業教育を先導する人材育成を目標として学校活動を行っています。

「生物生産科」では、1年次は農業の基礎を学び、2年次からは野菜コース・草花コース・作物コース・生物工学コースに分かれ、専門分野の学習をします。2年次からのプロジェクト学習では地域の特産野菜の栽培方法の検討や花育活動、希少植物の保護増殖などの研究を行っています。

「環境土木科」では、1年次は農業土木と測量の基礎を学び、2年次からは土木コースと造園コースに分かれます。どちらのコースでも将来の地元土木建設・造園業界を担う人材の育成を目標としており、施工管理技術や測量士補など資格取得にも力を入れています。



環境土木科造園コース3年生

栄養・食品加工を学ぶ食品系列・地域振興を学ぶ地域系列の3系列に分かれて学習します。近年は企業とコラボした商品開発や、地域産業である林業についての学習にも力を入れている学科でもあります。

「環境土木科」では、1年次は農業土木と測量の基礎を学び、2年次からは土木コースと造園コースに分かれます。どちらのコースでも将来の地元土木建設・造園業界を担う人材の育成を目標としており、施工管理技術や測量士補など資格取得にも力を入れています。

特に、造園コースでは授業の中で実習を多く取り入れ、コース選択生も体を動かして実習で学ぶことが好きな生徒が集まっています。また、地元の造園会社や造園業に携わる卒業生の方に協力をいただきながら、マツの剪定や樹木の根巻・移植などの実践的な実習も行っています。直に職人の方々に指導していただき、技を見て、お話を聞く機会を設けることで、造園という職業について深く学び、興味を持つきっかけになっています。



葉っぱテストの勉強中



若年者ものづくり競技大会



クロマツの剪定

ろからものづくり

Q. 造園コースを選んだ理由は？  
A. ①. 小さいころからものづくりが好きで、技能検定や若年者ものづくり競技大会にも積極的に挑戦し、技術や技能の習得を目指しています。また、日本一の庭園とされる足立美術館を始め、学校周辺には優れた景観を持つ日本庭園や文化財が多くあります。それら素晴らしいものに触れる機会が多くあることも強みの一つであり、その維持管理についても本校卒業生が携わることが多く、後継者としての期待もされています。

生徒の声 「環境土木科造園コース3年生3名にインタビューしました。」  
Q. 造園コースを選んだ理由は何？  
A. ①. 小さいころからものづくりが好きで、技能検定や若年者ものづくり競技大会にも積極的に挑戦し、技術や技能の習得を目指しています。また、日本一の庭園とされる足立美術館を始め、学校周辺には優れた景観を持つ日本庭園や文化財が多くあります。それら素晴らしいものに触れる機会が多くあることも強みの一つであり、その維持管理についても本校卒業生が携わることが多く、後継者としての期待もされています。

A. ②. 造園コースでは、樹木の種類や名前を覚える授業があり、葉を見て樹木名を答えるテストもしました。

A. ③. 樹木を覚えたり、竹を取りに行き門松をつくったり、色々な経験をすることができました。



造園技能検定練習の様子

A. ①. 造園技能士の資格取得を目指して練習したことです。初めて使う道具が多く戸惑いましたが、練習を重ねるうちに上手に使えるようになり、短時間で庭を完成させられるようになりました。試験当日はとても緊張しましたが、練習とおりに冷静に作業を行い、合格することができました。

A. ②. 3年生になり、様々な造園に関する資格に挑戦していく中で、最初は覚えただけで手一杯だったのが、練習を重ねるうちに余裕を持ちながらできるようになり、自分の成長をとても実感することができました。

A. ③. 造園会社の方の指導や課題研究などで外部の方とかかわる中で、技術だけでなく人間力などを教えてくださったので、とても感謝しています。



樹木の根巻・移植実習

ルポ

シリーズ 社園さん紹介 No.30

愛知農園植木苗木(株)

愛知県(稲沢市)



稲沢本社



慰安旅行



植栽施工例



庭作り中



Zoomでインタビュー

左から氏永康貴さん、会長の奥様の枝梨子さん、会長の孝夫さん、社長の勝之さん

家族で培った歴史、現場で磨かれた経験、そして業界の未来を見据えた挑戦。愛知農園植木苗木(株)は、(株)ガーデンメーカー「smile ガーデン」を立ち上げた。業界の未来づくりに挑戦しているこの姿勢は、植木業界の希望の形の1つです。

### 会社の歴史や現状は？

会長の氏永孝夫さん：「祖父が昭和25年に創業して、植木卸を続けてきました。私が3代目、いまは4代目の息子たちが家業に入り、造園にも取り組んでいます。内訳は造園5割、外構2割、卸3割。畑ではアオダモ、モミジ、ソヨゴ、オリーブなど50〜60種を育て、約50の畑に仮植。以前より減りましたが輸出も継続。現在、私と次男の康貴が愛知農園植木苗木(株)を、長男の勝之が(株)ガーデンメーカー（smile ガーデン）を担当。週末は個人のお客様が畑で木を選ばれるので、私は年中ほぼ畑にいます（笑）」。

### 自分で木を見て選べるのはいいですね。

康貴さん：「植栽を住宅会社とは別で探している個人のお客様や、提携の住宅メーカーのお客様が、実際に畑を回って木を選ばれるんですけど、木って樹形も一本一本違うので、皆さん本当に楽しそう。「これだ!」と選ぶうちに予定より本数が増えたり大きな木になることも多いです。住宅会社経由だと樹種決めて終わりがちですが、農園があるから“自分の目で選べる”のが大きな強みですね」。

### 従業員さんの勤続年数長いですが、福利厚生は？

枝梨子さん（会長の奥様）：「もう20年ほど前ですが、寮があって4〜5人の寮生がいました。一日に米を2升炊いたり洗濯したりと、とにかく忙しかったですね。部屋を掃除してあげたら「自分でやります」って断られたこともありました（笑）。その子たちが寮を出ていく時は、やっぱり寂しかったです。夏休みには高校の生徒さんが泊まり込みで来ていたこともあり、寮生が10人ほどになることもあり、その時はさすがに大変でしたね」  
…寮生は、奥様を自分のお母さんと重ねて見ていたのかもしれないね。まさしく縁の下の力持ち。

### 愛知農園の展望は？

康貴さん：「最近、洋風な庭や雑木風な庭にして欲しいという依頼が多いので、今後もそういった植栽を受注していきたいですし、その延長で外構も増やしていきたいです」。

### smile ガーデンも運営しているようですが、どのような会社でしょうか。

社長の勝之さん：「2014年に愛知農園で別事業を立ち上げて、2018年に分社化しました。きっかけは、当時まだ造園会社でホームページを作っている企業がほぼなかった頃に、試しに愛知農園でHPを作ってみたところ、一般のお客様がHPを見て植木を買いに来たり、植栽を依頼してきたりと、月に30〜40組ほどのお客様が来園され、想像以上に反響があったんです。その経験から「これは別事業でもやってみよう」と思い、庭手入れ専門でsmile ガーデンのHPを立ち上げました。すると、剪定したいとか、伐採をお願いしたいといった問合せがたくさん寄せられました。その時に「これからはネットの時代なんだな」と強く実感したのを覚えています」  
…昔はどのように業者を探していたのでしょうか？タウンページだったのでしょうか……。目の付け所が違いますね。

### 東京農大生の頃から経営に興味があったのですか？

勝之さん：「もともと家業を継ぐということで、意識はしていました。ですが、卸業界が下火だったので、色々と模索して、やっと見つかった感じです。もちろん、本を読んだり、セミナーで勉強したりしていました」。

### 会社の規模は？

勝之さん：「まだ全都道府県は網羅していませんが、現在、全国にFCとして240社ほど加盟しています。社内の従業員構成は、コールセンター15名、マーケティング部7名、加盟店指導をする店舗管理部7名、図面を作成する営業設計部3名、経理や総務を行う経営管理部4名、経営企画室に1名、全員で37名です。役員含め全部で40名となります」。

### コールセンターに15名もいるのですか？

勝之さん：「ありがたいことに繁忙期だと1日に120〜150件の見積依頼があり、多い日は200件を超えます」  
…そんなに多くの方が、庭の問合せをすることに驚きました。  
ここからはガーデンメーカーの社員の方にも加わって頂きます…

### HPでは庭師に依頼するメリット・デメリット、自分でできる剪定方法まで詳しく載せていますがなぜですか？

マーケティング本部 マネージャーの西村さん：「私はHPと広告などの集客全般を担当しています。重視しているのは“正しい情報発信”。来訪者に本当に役立つ内容を届けたいので、単に『ご依頼ください』ではなく、依頼のメリット・デメリット、剪定手順や植物の特徴も具体的に載せています。良い面だけでなく注意点も開示するほうが『ここは信頼できる』と感じていただけ、結果として集客にもつながると考えていますし、実はGoogleもそう言っています（笑）」。

### 矢谷さんはどのようなお仕事を？

経営企画室 室長の矢谷さん：「私は会社の短中期の事業計画の実行をサポートしたりしています。具体的には、KPI（重要業績評価指数）や予算管理、各部署のサポート、社内連携など。その上で大切なのは、しっかり利益を出していくことです。たとえば「何が問題かはっきり分からないけど、なぜかこの数字が悪いな」という時がありますよね。そういう状態を分析して、課題の優先順位をつけて取り組むことで、改善のスピードが速くなり、成果も出やすくなるんです」  
…社内の調整役、社内コンサル的な存在ですね。

### 可視化は大切なことなのですね？

矢谷さん：「はい。数字を可視化し、当事者に見せないと意識出来ないの、この数字をこうしたいから、貴方は具体的にこう動いてくださいと言うと、“なるほど!”と理解してくれます。単にここが足りないから頼むと抽象的に言われても、人はどう動いていいか分かりません。具体的に本人の仕事に落としてあげることが大切なのです」  
…なるほど、植木協会でもそれを取り入れたいと思いました。

### 一般社団法人ガーデンビジネス協会も立ち上げられたのですよね？

勝之さん：「はい。まだ立ち上げたばかりで、色々準備中ですが、立ち上げた理由は、この植木や造園業界で働く人がどんどん減っているからです。そこで、未経験から入る若い方や、経験の浅い方に対して、研修を通じて基本から教える、庭師の学校を作りたいと思ったのがきっかけです。人材が減る中でも、技術や伝統を次世代に残していきたいですし、スマイルガーデンを運営していく上でも、育成は欠かせません。そんな想いから立ち上げました。もし講師に興味がある方がいましたら、ぜひご連絡ください!!」  
…皆で色々な方面から植木業界を盛り上げていけたらいいですね。

#### smileガーデン



株ガーデンメーカーの一部の社員の集合写真



営業設計部\_図面作成中



開業前研修中



smile ガーディングループ

**部会員向け勉強会  
「SNSを活用した  
販路とPR」を開催**

新樹種部会では9月4日、「SNSを活用した販路とPR」と題した部会員向け勉強会を開催しました。

講師はSNSを駆使した植木販売で活躍中の3名に登壇していただき、実践的な事例を学びました。

トップバッターの講師は  
鎌田園芸（神奈川県）の鎌  
田健作氏です。鎌田氏は  
2017年にネット通販事



## パネルディスカッション風景

したことで、新型コロナウイルス感染症下のゲーディングブームでは大きく売り上げを伸ばしたのと対照的。

「グリーンロケット」を運営し、2021年にYouTubeチャンネルを開始。現在、チャンネル登録者9万人を擁するまでに増加し、著名YouTuberとしての活躍中。

す。

は Instagram を集客ツールとした実店舗「KIMIDORI FARM」を開店。今後は体験を通じて販売や他業種との協業を通じて自社のブランディングをより強化したいと抱負を述べられました。

続いて八進緑産(株)(茨城県)の郡司寛之氏が講演、YouTubeを駆使した事業展開を語りました。郡司氏は2008年より植木通販サイトを運営していましたが、コスト負担が重いことやネット販売の競争激化から方針を転換。YouTubeで植木の魅力を伝え、自社販売サイトに送客誘導する方式に舵を切りました。YouTubeは広告宣伝費がかからず知名度が向上し、一般消費者向けのみならず業販(B to B)にも有利に働くことかから従来販売の伸び悩みを力バーし、会社全体の売上アップに貢献しているとのこと。反面、動画作成に時間がかかることや新しいネタを考えなければならぬことなどの悩みもあるようでした。

3番目に登場した講師は(株)高橋魁春園(徳島県)



講演風景

シリーズ 女性樹木医 奮闘②

身近な樹木とのお付き合い、来し方行く末を思う

日本樹木医 広報部会員 株式会社エコル 橋本 智美

樹木医の資格制度は1991年に始まりました。学生だった私はそのニュースを聞き、果樹生産や林業などの経済活動の対象木ではなく、人の生活圏にある植物の「存在を尊重する仕事」を見つけたと確信。第一期生の現役樹木医の所属を探し「弟子入りできるかも」という期待を胸に造園系列の民間企業の扉を叩いてみました。

ただ当時の土木造園業界は男社会で、しかも世の中はバブル景気の崩壊直後。「学校出たての女の子」が植栽工事や管理の現場経験を積むのには少々壁が高い時代でした。

専門職志向なら最初は業務の流れを俯瞰して理解するのも大事と設計部門に配属され、理解のある上司の下で公共施設や集合住宅の植栽分野を担当させてもらいながら、主に「建設物価」や庭園樹・公園樹の図鑑を手元に置き、市場に流通する基本的な植物の名や形状寸法の規格、生育特性を諳んじるところからスタートしました。

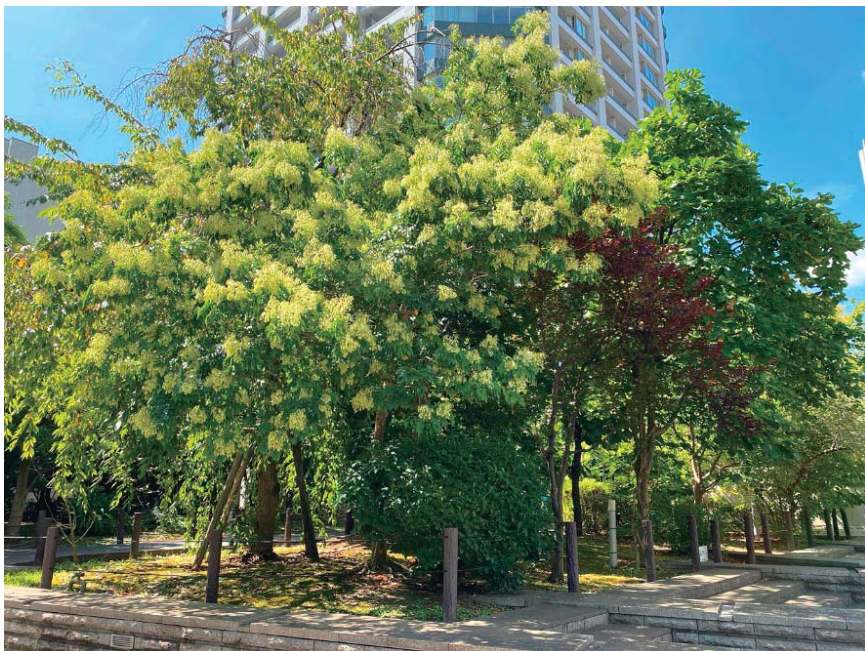
丁度そのころはワイルドフラワー緑化やイングリッシュガーデンの大流行期、ゴルフ場やスキー場など大型リゾート計画の案件の依頼もまだ多く舞い込んでいました。太っ腹なオーナーやデベロッパーさんからは“華やかで人目を惹く庭園緑化を”という要望が多く、新米設計部員は海外から次々に導入される外来品種の知識をとにかく頭に詰め込み、先輩の指示に合わせて植栽による景観のプレゼンテーションパターンを何通りも試作。

インターネットによる情報収集がまだ始まる前の時代でしたから、種苗会社や苗木生産者の方々から送られてくる新規材料紹介のリーフレット写真と、電話やFAXで教えていただく栽培情報が頼りでした。様々な形状の珍しいコニファーや、色変わりの品種の数々。ハーブ系植物の組み合わせの相性や、同種であっても斑入りや花色による生育状態の違い等を確認するために、圃場や先行事例の植栽現場に連れて行っていただくこともありました。

この時得た知識は、現在樹木医として植栽点検を行い管理のアドバイスを求められる立場上、今、異常なのか問題ないのか？健全性を見定めるための基礎として大変役に立っています。

2003年の地方自治法の改正で公的施設の指定管理制度が始まり、それをきっかけに公園などの植栽管理に携わることができるようになった私は、実務経験を通じた数々の試行錯誤と失敗を重ねて樹木医資格を得ました。

ただ、一般の方にとって満足度の高い庭園樹木の維持と樹々の健康管理とは必ずしも一致しません。時間をかければ回復が見込めるものも、現時点の見栄えや防音防風等の機能の発揮、安全性が公共空間では最優先のこともあり、時には待っ



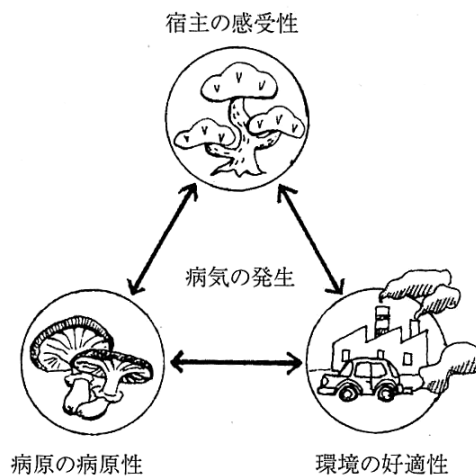
シマトネリコ 温暖化で都内の緑化木に昇格中

たなしで撤去植え替えの引導を渡すのも樹木医の役割です。

また植物は成長するもの。50年、100年と歳を経た樹木の環境変化への適応性や、病原への抵抗力というものは若木とは変わることもあります。植栽事例がそれほど多くない樹種、海外からの導入種や作出されてからの年数が浅い品種は、大きく育った後いざ樹勢悪化の兆しが見えても、病害虫情報や先行する診断事例が見当たらず、衰退要因の推定や木材腐朽などの病害の進行速度の予測も難しいのが現実です。

そしてなにより昨今の温暖化傾向は、公園や住居周りや学校の樹木の種類の様変わりを加速しています。先日も点検調査に伺った学校の校庭で、定番のケヤキやサクラに交じってインドゴムノキがどっしりそびえたつように育っていて驚きました。シマトネリコも実生でぐんぐん大きくなっているものが増え、これは将来の診断依頼に備えて今から亜熱帯系の植物の特性を学んでおかねばと危機感を持っている今日この頃です。

生産者の皆様のお知恵を借りながら、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



「最新樹木医の手引き改訂3版」より、樹木の病気発生トリアングル



## これは病斑？それとも斑入り品種？ 管理現場で迷う判断



【花に頼らない！】花以外でお庭を華やかにしてくれるオススメ低木をご紹介します…  
グリーンロケットの植木チャンネル・3.4万 回視聴・

郡司寛之氏の YouTube



鎌田健作氏とプレゼン資料

高橋誠氏です。高橋氏は Instagram のフォロワーが 28 万人強を有する人気インフルエンサーです。庭木に特化したアカウントでは日本一を誇っています。

高橋氏が SNS を運用する上で心掛けていることは、植物を通じて生活を豊かにするコンセプトを徹底し、ユーザーに価値を届けることです。情報は出し惜しみせず、しっかり伝えることでユーザーの信頼につながる。事業の観点では、SNS は広告費が無料であり、即効性はないものの、後々購入に繋がります。広告媒体として利用価値が高いと論じました。SNS は仕事の可能性を大きく広げてくれるツールであると高橋氏は強調しました。

講演終了後は丹下貴啓部会長がモデレーターとなり、3 名の講師のパネリストとディスカッションを行いました。ディスカッションでは① SNS を通じた販売後のアフターケアや問い合わせ対応、② SNS を始める前の心構えなどについて意見を交換しました。

## 連載「植物園だより」

### 第 6 回 いい根！ いいね！

しまだ ゆきこ  
咲くやこの花館 島田 有紀子



◆プロフィール  
広島市植物公園勤務ののち、現在は大阪市の咲くやこの花館に勤務。大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修了。博士（農学）。ペラルゴニウム属やペゴニア属などの鉢花や草花一般に造詣が深く、特に変わり葉ゼラニウム研究の第一人者。「NHK 趣味の園芸」の番組・テキストや、各地での講演など家庭園芸ファンへの普及に日々努めている。「NHK趣味の園芸 12か月栽培ナビDo 花苗をふやすタネまき・さし木・株分け」など著書多数。

植物園にはたいいてい温室があって、日本の自然では見られない熱帯・亜熱帯の植物を観賞することができます。家庭で鉢栽培している観葉植物からは想像もできないような植物の雄大な姿に驚かれることでしょう。鉢という狭い空間から解放された植物は、のびのびと根を張り巡らせてダイナミックに成長し、ときに温室の屋根を突き破りそうなくらい大きくなることもあるくらいです。

さて、そんな熱帯植物について、今回は「根」にスポットを当ててご紹介します。

地上の茎や幹から空気中に出る根を「気根」といい、地中にある根とは異なる機能を持っています。

つる性のフィロデンドロンは気根を伸ばして他の植物や岩に着生しながら成長するため、家庭用にはヘゴ支柱やモスボールなどに這わせて仕立てられることが多いですが、植物園の高温多湿の温室で地植えして育てると、写真のとおり。すくすくと葉を広げ、カーテンのように気根を垂らす姿は同じ植物とは思えないほどです。気根は養水分を吸収するだけでなく、植物体を支える成長の命綱の役割を持っています。

その写真のフィロデンドロンが着生している木はガジュマル。観葉植物の代表格でもあるガジュマルは「絞め殺しの木」とも呼ばれる植物です。

自然界では果実が主に鳥類に食べられた後、糞に混ざって種子が排出され、他の樹木の枝の付け根や幹のくぼみに落ちます。樹上で発芽したガジュマルは宿主植物に絡まるように着生しながら気根を下に伸ばしていきます。気根は地に着くと支柱根となって今度は土壌の栄養分を得て勢いづき、上部に葉を茂らせ、やがて宿主植物を包み込んでしまいます。とりつかれた木は日光を遮られて枯れてしまうことから、「絞め殺しの木」と呼ばれるようになりましたが、現代は教育上の観点から、「絞め枯らしの木」と呼ばれているようです。熱帯雨林のジャングルにおいて、光合成をより有利にしようと日光を確保するためと



ガジュマルに気根を伸ばして着生するフィロデンドロン（咲くやこの花館）。



カンボジアのタ・プローム遺跡。ガジュマルに覆われ崩れそうな寺院。

はいえ、他の植物の犠牲の上に成り立つ仁義なき生存戦略です。

世界遺産にも登録されているカンボジアのアンコールワット周辺の遺跡群は、ガジュマルの巨木に力のまま包み込まれ、原形を想像することすら難しいほど破壊が進んでいます。自然と遺跡の一体こそが見どころとも言われますが、あまりにも進み続ける遺跡の侵食に、今はユネスコを中心に修復の議論がなされています。

ちなみに、ガジュマルを含むフィカス（イチジク）属には、釈迦がその木の下で悟りを開いたとされるインドボダイジュや、観葉植物で人気のベンジャミンゴムノキやベンガルボダイジュ、そしておいしい果物のイチジクなど、世界の熱帯・亜熱帯地域に800種以上が分布しています。

タコノキ科のタコノキという奇妙な名前の植物も地上の茎から気根を何本も出します。その根はあたかもタコが足を広げた格好で、植物体を支えるので支柱根と呼ばれます。タコノキの仲間ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オセアニアと周辺の島々に分布し、日本にも小笠原諸島の固有種タコノキや南西諸島にアダンが自生しています。

そのほか、マングローブ植物であるヒルギ科のヤエヤマヒルギもタコの足のような支柱根をもっていますし、オヒルギはその酸素の少ない泥湿地帯に適応して、根の一部を地上に突き出し、呼吸をしています。その姿は人が膝を曲げたような形をしていることから膝根と呼ばれています。

植物園では大木が生い茂るジャングルに迷い込んだ気分です。上を見上げて歩くことが多いと思いますが、目線の高さやちょっと下にある根っこにも注目すると楽しみが倍増することでしょう。



ビヨウタコノキ。支柱根がタコの足のよう（咲くやこの花館）。



ベンガルボダイジュ。地に到達した気根は大きく成長して支柱根となり、木は横へと広がっていく（ハワイにて）。

連載「多肉・珍奇植物」

# 第15回 古典園芸植物の代表 「おもと」の趣きに酷似する、ガステリア

東京都市大学環境学部教授 飯 島 健太郎



## ◆プロフィール

東京都市大学環境学部教授。桐蔭横浜大学工学部専任講師、同医用工学部准教授を経て現職。博士(農学)。日本造園学会賞／研究論文部門受賞、東京農業大学造園大賞受賞。著書:『新しい都市緑化・ガーデニング材料／多肉植物』(ソフトサイエンス社)、『サボテン大好き』(講談社)、『多肉植物の名前400がよくわかる図鑑』(主婦と生活社)、『サボテン全書』(監修、グラフィック社)、『多肉植物全書』(監修、グラフィック社)など。

地味であまりに渋く、眺めるほどに趣きを感じる古典園芸趣味の代表と言えば「万年青(おもと)」をイメージされるかもしれない。その風情に似ていて、素朴で落ち着いた感じが整っていてカッコいい、そんな多肉植物と言えばガステリアの仲間であろう。ハオルチアとともにユリ科として親しまれてきたが、最新のAPG分類によりスキノキ科ガステリア(*Gasteria*)属と位置付けられている。放射状に展開する種もあるが、主として左右に展開する肉厚の葉は密に重なり、その緑色の濃淡とともに模様の多様性がある。雑多な多肉植物の一つとして栽培されるのではなく、ハオルチア属の「万象」や「玉扇」とともに収集したり、ガステリア属のみ、あるいはその中の特定の品種群のみ収集するほか、肉厚の葉と寸詰まりのフォルムを競って品種を求めたり、同種の個体差を楽しんだりとコアなマニアに古くから愛培されてきた。

アフリカ大陸南部に分布し、岩の隙間や灌木の陰などに群生していることが多く、栽培下では遮光しながらも間延びしない育成のコツが求められる。わが国では「万象」や「玉扇」とともに品種の作出が盛んに行われ、葉はより厚く、より丸みを帯びて特に詰まった個体は人気が高い。ガステリアの品種名に「ダルマ」がしばしば付されることでも、その傾向が読みとれる。

ややマイナーな存在ながらもビジュアルプランツのメニューとして認識されていることが、「ガステリア」の検索の傾向が2016年以降に安定して増加していることから理解できる(図)。

ガステリアの中で古典園芸を彷彿させる代表的な種類は、臥牛(*Gasteria armstrongii*)である。濃緑色の肉厚の葉は舌状で、表面はザラザラとした見た目と質感がある。その葉が左右に規則正しく整然と重なり合い渋さと美しさを合わせ持つ。明治時代に渡来し、趣味家に古くから栽培されてきた(写真1)。その

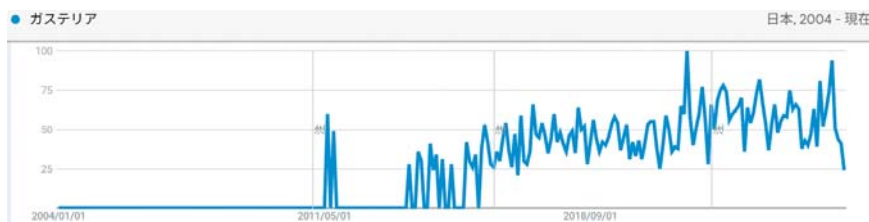


図 グーグルトレンドによる「ガステリア」の検索傾向

種名は、まさに牛が横たわっている姿を意味するが、「臥象」と名付けられた品種も存在し、今後新たに作出される品種の命名の動向も興味深い。株の下部中央付近から比較的に太い主根が数本長く伸長するので、おもと鉢や春蘭鉢のような狭く深い鉢がその栽培に適しており、古典園芸的な観賞価値の向上と共に演出する趣味家も多い(写真2)。

そうした玄人好みとは対極的な普及種の代表は、子宝(*Gasteria gracilis* var. *minima*)であろう(写真3)。多肉植物初心者がガステリアの中で最初に手にする品種として知られる。虎の巻(*G. gracilis*)の小型品種とされ、普及種ながら古典園芸趣味的な要素も大切にされている。斑入種では、群生している中で縞斑からうぶ斑まで多様に観察されることもあり(写真4)、特に縞斑の個体が分離されて大切にされる。これまでに斑の色彩、模様が特徴的な品種として、「クリーム子宝」、「富士子宝」、「美鈴の富士」、「桜富士」、「颯々の松」などが作出され維持されている。

近年発見された種として、ガステリア・グロメラータ(*Gasteria glomerata*)が知られる(写真5)。非常に肉厚でやや白みがかった葉が特徴であり、ガステリアのなかでは小型の種類である。オレンジ色の釣り鐘のような形の花を咲かせる。東ケープ州ポートエリザベス近くの非常に限られた地域の断崖絶壁に自生しており、1991年にガステリアの新種として記載された。乱獲が危ぶまれたが、盛んに子吹いて比較的群生しやすい性質であり、増殖品が瞬く間に市場に出回ることになった。

ガステリアの仲間は、多肉植物の生産農家によって、子宝や虎の巻などの普及種を中心にハオルチア、アロエの仲間とともに半日陰向きのミニ多肉(主に2寸鉢)として生産されてきた。臥牛の希少品種などの趣味家向けの個体は、一部の生産農家やセミプロによって限定的に流通されている。

地味ながらもその整然とした姿形と極めてゆっくりとした成長をこだわりの鉢とともに鑑賞するわが国特有の伝統的な園芸の世界も大切にしていきたい。



写真3 子宝



写真4 子宝錦



写真5 ガステリア・グロメラータ

## 会員動向

### 社園名・代表者変更

- ▷(新) 善林園芸(株) (栃木県)
- (旧) 善林園芸
- (新) 善林雄士 (旧) 善林文雄

### 代表者変更

- ▷(新) 佐藤一樹 (旧) 佐藤康隆
- (有) 佐藤樹販 (栃木県)

- ▷(新) 勝山大地 (旧) 勝山明彦
- (株) 松盛園 (兵庫県)

### 担当者変更

- ▷古閑樹苗園 (熊本県)
- (新) 土川彰則 (旧) 古賀勝則

### 電話・FAX 番号変更

- ▷(有) 郡山緑樹園 (鹿児島)
- 電話 0996-68-7575
- FAX 0996-68-7758

### メールアドレス変更

- ▷愛知農園植木苗木(株) (愛知県)
- e-mail info@aichinoen.com

- ▷(株) 柏松園 (広島県)
- e-mail wholesale@hakushoen.co.jp

### 退会

- ▷(有) 横山緑化センター (愛媛県)
- ▷井上青華園 (熊本県)
- ▷(有) 大阿蘇造園 (熊本県)

## 計 報

- ▷北井 保 様 (協会員)
- 阿久和園 (神奈川県)
- 令和7年8月16日没 享年74歳
- ▷持田修治 様 (協会員)
- 持田植木 (神奈川県)
- 令和7年9月17日没 享年64歳
- ▷持田喜久代 様
- (故持田修治様のご母堂様)
- 持田植木 (神奈川県)
- 令和7年9月1日 享年91歳

- ▷飯島美恵 様
- (飯島裕之氏のご母堂様)
- 大和園 (神奈川県)
- 令和7年8月29日没 享年90歳
- ▷角田勝之 様
- (角田肇康氏のご尊父様)
- (株) 角田園 (愛知県)
- 令和7年9月没 享年87歳
- ▷川崎一三 様
- (川崎和哉氏のご尊父様・元協会会長)
- (株) 川崎緑化センター (鹿児島県)
- 令和7年8月15日没 享年88歳

## 日比谷公園ガーデニングショー2025(東京都千代田区)

10月25日(土)、26日(日)に、ワークショップ(ミニ寄せ盆栽)に参加します。

## 令和8年度 協会総会

開催日 令和8年1月28日(水)

会 場 都ホテル京都八条(京都府)

## 令和8年度 コンテナ部会総会

開催日 令和8年1月29日(木)

会 場 都ホテル京都八条(京都府)

## 令和8年度 青年部会総会

開催日 令和8年2月10日(火)

会 場 大阪ガーデンパレス(大阪府)